

陸前高田市の復興の推進に係る取組みについて

陸前高田市議会は、これまで、東日本大震災復興対策特別委員会において、「東日本大震災に係る陸前高田市の復興状況及び復興計画等の諸調査並びに復興促進対策について」を調査事件とし、広く市民の意見を聴取することを目的として、議会報告会を開催してきたところである。

また、議会報告会で出された意見や提言を基に、課題を整理し、二元代表制の一翼を担う議会として、市当局へ提言書や申入書を提出するなどの取組みを行ってきたところである。

本年度２回目となる議会報告会については、平成２５年１月２８日から２月４日までの期間、市内１１か所及び住田町において開催した。

市民からは、震災からの復興の取組みを推進するにあたって、また、復興の取組みが長期化するに伴って、被災者ばかりでなく地域の置かれた状況が変化していることから、多くの意見や提言をいただいた。

については、本市の復興の推進に係る今後の市政運営においては、業務推進の基盤となる人員の充足がいまだ十分ではないなど、厳しい行政運営を強いられていることは勘案しつつも、以下の視点に考慮しながら取り組まれるよう求める。

記

１ 全体的な視点

（１） 市民との対話・情報共有について

ア これまでの住まいの確保に係る諸事業の取組みについては、国・県等との調整や用地確保等により、市民の目には見えにくかったものの、十分に努力されているところであり、また、その進ちょく状況等については、復興ニュース等を発行するなど、市民に情報を提供する取組みが徐々に進められていると認められる。

しかしながら、市からの直接の説明を求める市民がいることや、移転対象者以外の市民にはこれまで詳細な情報提供等が十分でなく、また、情報が提供されても、そうした情報が十分に浸透しているとは言えないことから、市の事業に対する誤解等が生じている。

市民への情報提供については、これまでの取組みに加えて、市民がイメージしやすい情報提供への工夫や、これからのまちの全体像を模型等で立体的に示すなど市民の理解を促す取組みや事業の直接の対象でない市民への説明会の開催等、情報を提供する機会を持つなど、市民の理解を深めるための取組みを強化するとともに、市政懇談会の開催など、市民参画の視点に立って事業を推進されたい。

イ 市庁舎など重要な施設の位置については、市民の意見を反映させながら検討されるべきとの視点に立って慎重に取り扱われたい。

ウ 放射性物質に汚染された牧草やシイタケのホダ木の保管については、それらが保管される地域への説明、また、市民全体への説明が十分でなかったことから、安全

性への懸念や不安が生じたと考えられる。今後、こうした処理や防災対策などを含め、市民の安全に係る施策については、事前の情報提供に万全を期す視点に立って細心の対応をされたい。

(2) 復興の長期化に伴う市民サービスへの対応について

ア 復旧や復興に伴う時間の経過とともに、市民の置かれた環境や意識は変化している。特に、小中学校の生徒にとっては、施設やサービスが復旧するまでに、その年齢にふさわしい知育や体育が行われないのではないかと懸念があることから、早急に仮設体育施設等の充実等教育環境の整備に努める視点に立って対応されたい。

イ 人口流出の懸念とともに、生業の再生や仕事を求める声が強まっている。また、公立及び法人立の保育については、保育所・保育園の再建、格差のないサービスの充実を求める声が強まっているとの視点に立って対応されたい。

ウ 仮設住宅への入居期間が長期化するに伴い、入居者の健康管理等への支援を求める声が強まっているとの視点に立って対応されたい。

エ 市の窓口対応が十分でない等の意見がある。市民への対応については、温かく思いやりを持って接するよう努めているところであるが、被災者の心情に立ちさらなる徹底が必要との視点に立って対応されたい。

2 個別的な視点

市民から議会報告会で寄せられた意見等は**別表**のとおりである。